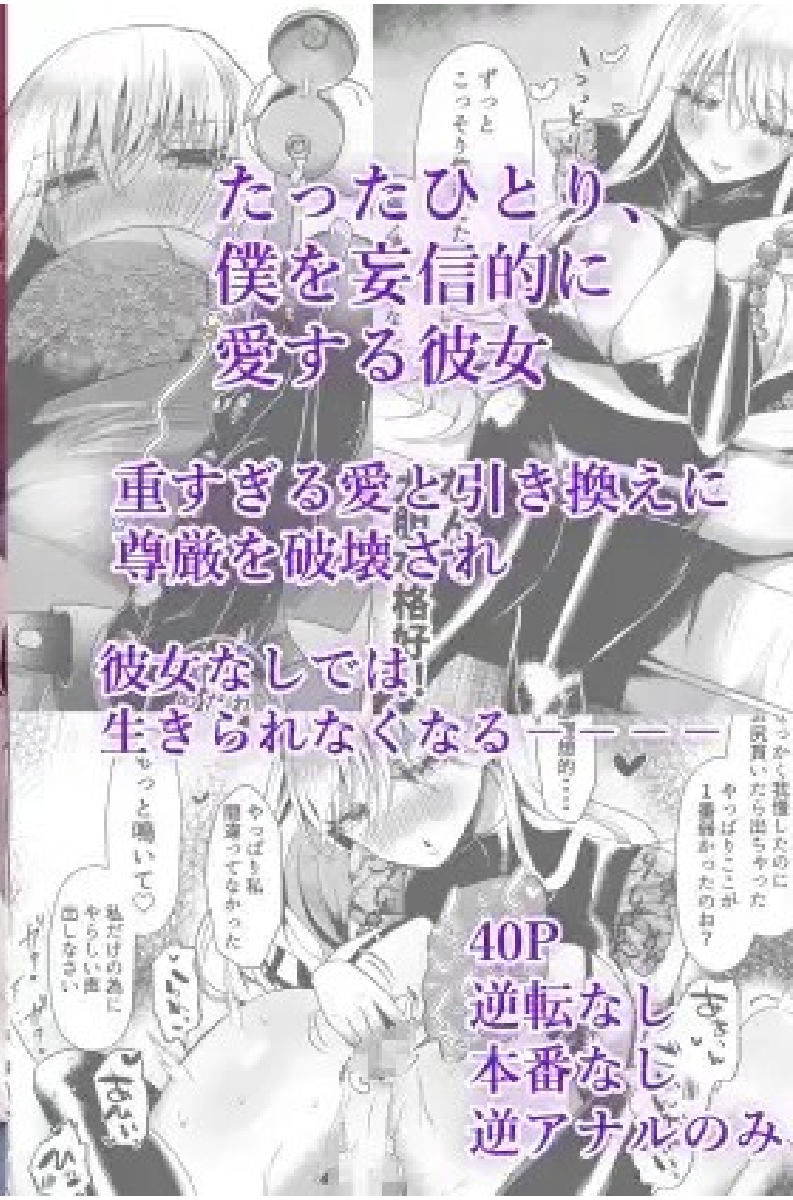
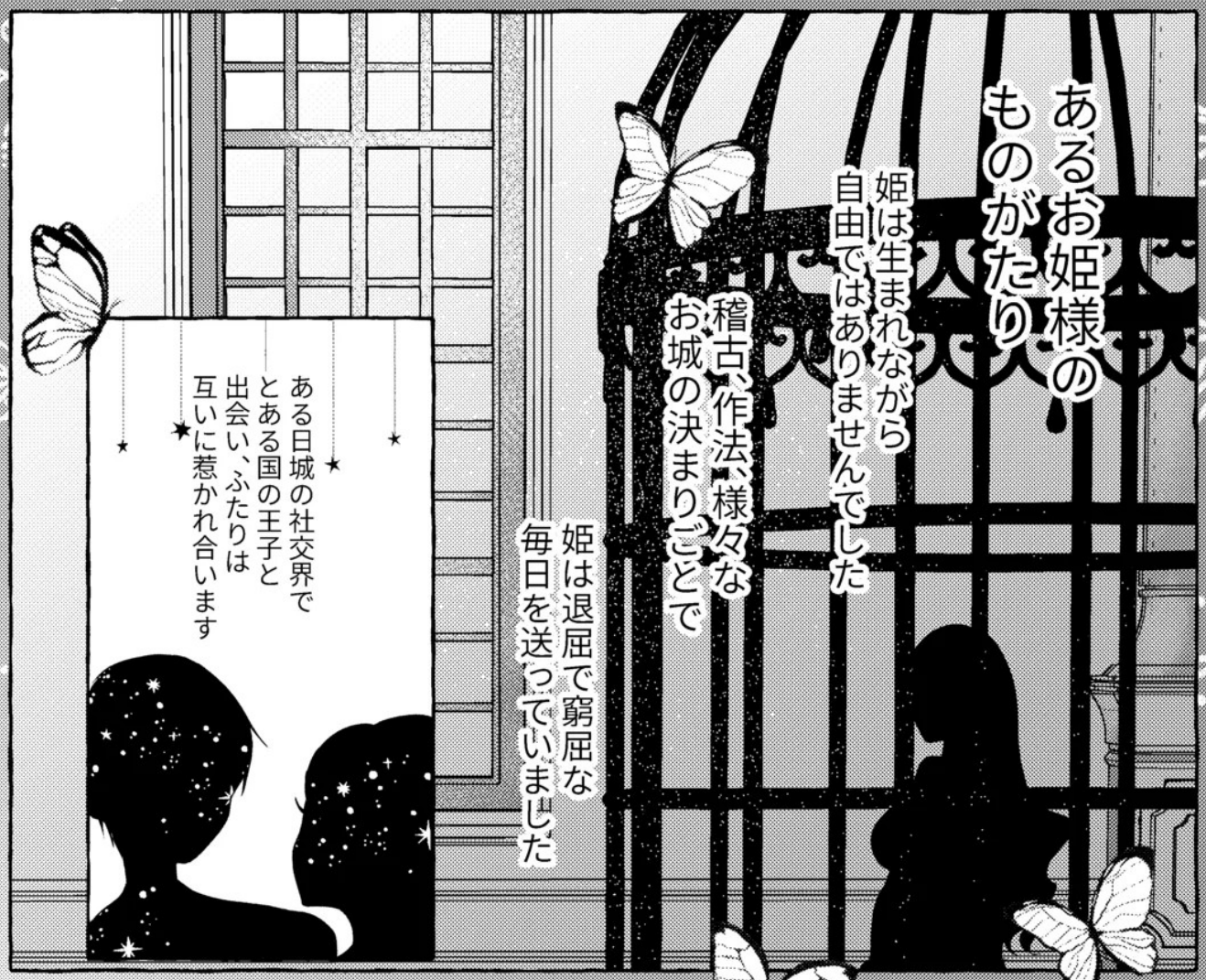
純愛尊厳破壊
愛するあなたを奴隷にするために
R18
ADULT ONLY


たったひとり、
僕を妄信的に
愛する彼女
重すぎる愛と引き換えに
尊厳を破壊され
彼女なしでは
生きられなくなる
40P
逆転なし
本番なし
逆アナルのみ


あるお姫様のものがたり
姫は生まれながら自由ではありませんでした
稽古、作法、様々なお城の決まりごとで
姫は退屈で窮屈な毎日を送っていました
ある日城の社交界でとある国の王子と出会い、ふたりは互いに惹かれ合います

恋の道中様々な障害に阻まれますが
最後はふたりだけで誰も知らない場所で幸せになりました

はぁ
やっぱり素敵だわ
現実はこうもいかないけどね
ハタン
西城さん

遅れてごめんね
なおっ
いいえ
さっき来た
ところだから
おー
またその本を
読んでたの？
好きなんだね
如月くん
ええ
この本実家にもあって
懐かしくて
それよりも
如月くん
私たちはもう
お友達でしょう？
あ、あっ
他の女友達と
同じようには
呼んでくれないのかしら
ごめん
モコちゃん・・・
ドキ
ドキ
ドキ
西城桃子さんは
僕の大学の友人です
図書館でよく会ううちに
仲良くなりました

西城…モコちゃんは
大学内でもお金持ちで
お上品なお嬢様として有名で
正直なところ図書館で
よく会うだけで
どうしてここまで
仲良くしてくれるのか
わからない
僕は地味で
良くも悪くも普通だと
思うし
今日
ずっと楽しみだったの
ほら、私家に友人を
入れたことないから
いいの？
もちろんよ
一緒に読書しながら
お茶をしましょ
如月くん
本好きだものね
かわいい
こんなかわいい
友達ができて
すごく嬉しい
でも僕は
モコちゃんに
優しくされて
女性として
意識しています
モコちゃんは
お上品でお嬢様だから
こんな気持ちに気付いたら
幻滅されるかもしれないし
彼女が僕を
友達というなら
それに従うべきで
男としての気持ちは
抑えた方が良いと
思っている

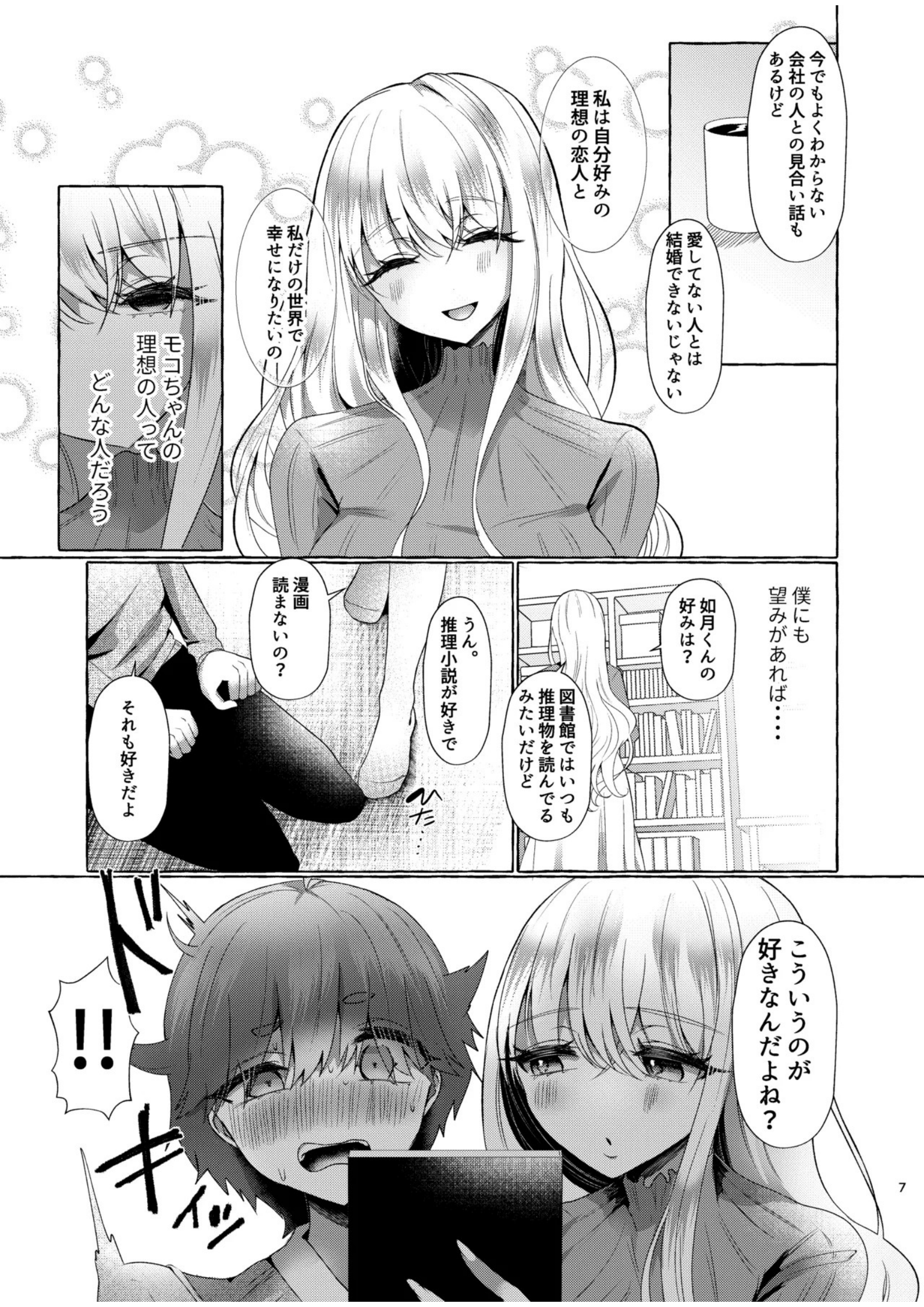
あ
この本

それね・・・
実家にもあるけど
自分でも買ったの

この本
王道の恋愛物語だけど
子供の頃の私は
とても救われたのよね
なんだか
自分に似てる
気がして

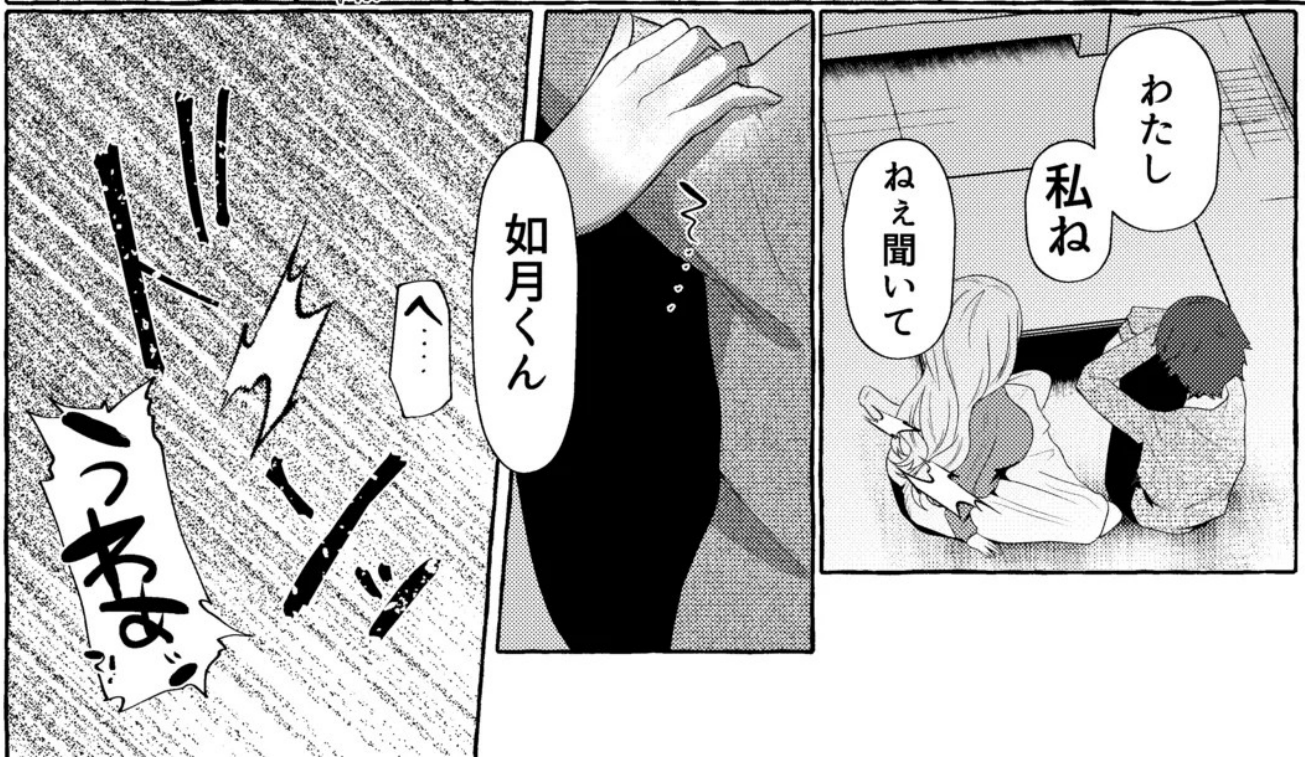
モコちゃんも
その、
あまり自由が
なかったの？

ええ
大学進学を機に1人で
暮らしているの
・・・
どうしても実家を
出たくて
すごく
息苦しかった
から・・・


今でもよくわからない
会社の人との見合い話も
あるけど
愛してない人とは
結婚できないじゃない
私は自分好みの
理想の恋人と
私だけの世界で
幸せになりたいの
モコちゃんの
理想の人って
どんな人だろう
僕にも
望みがあれば・・・
如月くんの
好みは？
図書館ではいつも
推理物を読んでる
みたいだけど
うん。
推理小説が好きで
漫画
読まないの？
それも好きだよ
こういうのが
好きなんだよね？
!!
キィッ

な、
なななななな
なんで
それ…
ごめんなさいね
この間鞄の中身丸見えで
気になって
自分でも取り寄せてみたの
モコちゃんに
見つかっちゃう
なんて…

如月くんって
エッチなの
興味あったんだぁ
しかもこういう
女の子にいじめられる
やつ…
はずかしいいい
いいいいいいいい


わたし
私ね
ねぇ聞いて
如月くん
へ…
うわぁ

私、大好きな人と
2人だけの世界に
行ってみたいの
でも世の中の男の人って
私を支配しようとしてくる
目の中
お金の色で
ギラギラさせて
はぁ
私を連れて
行こうとするの
でも他人に手を引かれて
歩くのは嫌なの
そんなの実家にいた頃と
変わらないわ
はぁ
モコちゃん……
如月くんには最初から
そんな雰囲気は
感じなかったから
いいなって思ってたの
最初は友人に
なれたらそれで
良かったんだけど
モコちゃんも
僕のこと……
こんなの
見たら
もう我慢出来ないわ
これって
運命よね？
如月くん

うふふ
ふふ
素敵……♡
モコちゃん……!!
なんて大胆な格好!!!
ずっとこっそり集めてたけど
使う時が来るなんて
すごい
すごい
本物……
はぁっ
ドキドキする？
ヒロシはどれが合うかしらあ？
これから私のための身体にしてあげる♡♡
こっちにきなさい♡
ドキ
ドキ
ドキ

ヒロシは
お利口さんね
全然抵抗しないんだもの
あぅっ
モコちゃん…っ
ちょっと
つまんないけど
偉そうにする男より
マシだわ
あっ
あんな
マゾしか
好きじゃない
卑猥な本
読んでるくらいだから
夢を
見てたのかしら？
心の中ではこんなの
おかしいと思ってるのに
モコちゃん
「運命」だって
言ったから…
11

こんなに固くして
これからどうなるか想像して興奮してるの？
モコちゃんがいつもいつもあの綺麗な本を読んでる綺麗な手が
僕のおちんちんに触ってる……っ
私が出して良いと言うまで我慢しなさい
ダメよヒロシは我慢できるわよね
12

ああやっぱり
こういうのも
好きなのね～♡
嬉しい・・・
ぐりぐりぐり
ぶぶぶぶ

あったかい……
舐められてるっ!!
ぢゅぶ
れろ
ヒクンッ
ムニュ
ムニィ
我慢するのよ～
この程度で出す程ヒロシのおちんぽは雑魚なの？
苦しい苦しい
苦しい苦しいいいっ♡
!!
ちゃんと我慢出来たらもっと気持ち良い事が待っているのに……
!!
だめだめもう精子そこまできてる!!
ぐぐぐ
ぐぐぐ
まずい
これ気持ちいい
ぢゅぶぢゅぶ
なでなで
出そう!!
ぐぐぐ
苦しいっ
気持ちいい
ぐぐぐ
ぐぐぐ

我慢出来ないなら私の理想じゃないわ
汚い精子と一緒にここから出ていって
耐えてる耐えてる……♡
そんなに私のものになりたいのね……♡
こんなに苦しいのに……
かわいいヒロシ
すごく寂しくて悲しい気持ちになった嫌だ……
モコちゃんに嫌われたくない
モコちゃぁん

ご褒美あげる
ぶるっ
ぉぉっ
ここに入れたらすごく気持ちいいのわかっているわよね？
ヒロシってとっても変態でしょう？
わかってるけど!!
変態らしい淫乱な身体にしてあげる
ヒクン
ヒク
ぴくっ
そこに行ったらもう戻れない……
グッ
グッッ
いっ…まって
入っちゃっ

あらやだ♡
せっかく我慢したのにお尻貫いたら出ちゃったやっぱりここが1番弱かったのね？
全部理想的……
やっぱり私間違ってなかった
もっと鳴いて♡
私だけの為にやらしい声出しなさい

うふふ・・・・
うふっ
すごいわぁ
想像以上に
変態な身体
こんなになるのに
持ち腐れていた
なんて勿体ない
もっと早く遊んで
あげたら良かったわ
ダメ!!
とまんないっ
ねえ
もっと私好みに
なるなら
もっともっと
愛してあげるわ
私の恋人(奴隷)に
なりなさい
!!

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

桃子
なんて事をしてくれたの？
あんな程度の低い家庭の男
うちの品格が下がってしまいます!!
わたくしが話をつけましたから良いものを・・・
あなたは西城家の娘なのよ!?将来はちゃんと決められているのです
自覚を持ちなさい
西城家の立派な
この家の娘として
あなたは本当に・・・!!いずれこの家の恥晒しになってしまいます!!
わたくしはそうならないように・・・
桃子!!聞いているの!?
どうして兄のようにいい子に出来ないの!?

モコちゃんの勧めてくれた本凄く良かったよ～
それは良かったわ～
私あまり本読まないんだけど何かおすすめある？
ドキッ
そうね・・・どんなジャンルが好きかにもよるけれど
ドキッ
ドキッ
ドキッ
やっぱり彼女は僕の住む世界とは違う
本当に僕が恋人でいいのかな
でも「運命」だから
はぁ
モコちゃんは確かにそう言ったから
はぁ・・・

待ち合わせの瞬間から勃起させて
はしたない子ねぇ
大きな声を出したら誰かに気付かれてしまうかもね
ふふっ 大丈夫よ多分
この時間もうほとんど人来ないもの

見られるかもしれないって思って興奮してしまったのね・・・♡
みんなにヒロシは本当はこんなにエッチな男ってこと
知らせてあげようかしら

なんちゃって
誰にも教えてあげないわ
ドキ
ヒロシの愛おしさがバレて
誰かに取られたらそいつのこときっと殺しちゃう
大丈夫…僕はどこにも
モコちゃん…
!!
何よ良いところなのに
はあ
父
トン
おしまい…
続きは家でしてあげる
それまでおちんぽムズムズしていなさい
カツ
カツ
待って

あいつは
発育だけはいいから
それだけの為に
寄りつく男ばっかり
なんだろうな
貴方言い過ぎよ
桃子はこの家の
令嬢なのだから
だからこそレベルの低い
異性との交際なんて
許せないのよ
まぁだからって
将来あいつが
会社に出来ることなんて
何もないんだ。女だしなぁ
狙った会社の
重役にでもあてがうくらいしか
使い道もない
せっかく
この家に産まれたんだ
役に立ってもらわなきゃ
割に合わないだろう
「親愛なる
王子と共に」
「遠い遠い
国へ行けば
自由を
手に入れられるの
です」
でもあんな人みたいな
王子なんて絶対嫌だわ
私が世界を作るのよ
私の王子様を
作ればいいの
いつまでも
恋人のような
犬のような
奴隷のような

わぁすごいわ
家に来るまでずっと
勃ちっぱなし
さぞかし
しんどいでしょうね
勃ちすぎて
おちんぽ
ジンジンするんじゃ
な〜い？
いたい
れす
そんな性欲旺盛なのに
今まで素知らぬ顔して
生きてきたのね
ヒロシは
とんだスケベ男だわ
モコちゃんが
したから・・・っ
あらあ
私のせいなの？
私が手を出したかも
しれないけれど
それに喜んでちんぽ振って
答えたのはあなたじゃない

少しでも適応しなければ
さっさと捨てたのに
あっ
ハッ
ハッ
あんな本持ち歩いて
物欲しそうな飢餓の犬みたいな
ツラとちんぽぶら下げちゃって
誘ってるとしか
思えないわ
私に身も心も
犯して欲しくて
奪われたくて
たまらないみたいな？
ヒロシが悪いのよ
でもそれで
良かったの
気が付かなかったら
私はずっと同じ所で
息をしなければ
ならなかったのだから
ヒロシは私のために
生まれてきたの
ビクッ
!?
でも私育ちが悪くて
強欲だから証が欲しい
ズオオオオ

モコちゃん待ってよ
何するの!?怖いよ!!
逃げるの？
違う……
美味しいとこだけ
持っていって
気が済んだら
逃げるわけ？
結局誰も同じ
って事？
私のためには
生きられないのね

だったら死になさい
私の前から消えて
ちょうだい
ううう
ちがう……
僕は
私のために
尊厳を殺すか
一瞬の痛みから
逃れるために
愛を殺すか選びなさい

僕は……
モコちゃんの
ことが
すき……

ガクガク
ガクン

よく頑張ったわねぇ
これで
正真正銘
私のものよ
今日はたくさん
ご褒美をあげなきゃ
苦しい事があっても
その先には何にも
変え難い快楽が
待っているのよ
私に全身で犯して
欲しいでしょう？
もっともっと
あなたに相応しい
みっともない
おねだりをして
私にしか見せられない
人間以下の下品な本性を
曝け出しなさい

モコちゃん・・・
僕はモコちゃんの奴隷(恋人)です・・・
はぁ・・・
ずぐっ ずぐっ
たっぷり
ボロボロに犯して
僕に悦びを
教えて欲しいです・・・
楽にして
下さい
はぁ・・・
何もないのに
モコちゃんに
愛されるのは
恥ずかしいので
僕だけがなれる
モノにして欲しい
僕は良くも悪くも
普通だ
それ以上でも
以下でもない
楽になりたい・・・
何もないから
マゾの上にど変態な
性癖を持て余して
毎日シコシコ惨めに
慰めながら
ずっと私を
待っていたんでしょう？
かわいそう
だったわね
哀れなヒロシ・・・
お望み通り
楽にしてあげる♡♡

あぁ
そうだわ
私の奴隷に
相応しい格好に
してあげる
まぁ
かわいい♡♡
私ペットを飼ったら
着飾らせるタイプ
なのよ
はへっ
はぁ〜い
ぶるっ
あなたには
何もないのよね？

私がたっぷり
個性を植え付けて
あげますからね
尊厳を捨てないと
興奮できない
身体になるのよ
クイッ

これもただの置き物感覚で集めていたものだけど
あなたが命を与えるんだから
とぉ〜
ほら こーんなに大きなものが入ったら
どうなっちゃうのかしら？
とっても楽しみよね♡
はっ
はっ
はっ
どうしよう
ぁ〜…
どうしよう
どうしよう〜…
しょわぁぁ〜
ぷるっ
絶対壊れちゃう
ぷるっ
嬉しくて粗相したの？
犬ね
うふふ
ヒロシとっても適応力があるのね
こういう事だけは

少しずつ挿れてあげるからね
しっかり感触を味わうのよ♡
やだわぁおちんぽだけじゃなくてこっちも弱いのねぇ
てかガバガバになるのが早いのよ
ヒロシのケツアナは挿れる為に存在するのかしらねぇ

ナデ
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ

まーた堂々と
粗相したわね
ダメ犬
恥を知りなさい♡

身体にたくさん証が付くわねぇ♡♡
嬉しいわよね？
私はとっても嬉しい……
痛い
すごく痛いのに
嬉しい……!!
必要とされて誰かのための存在になる事が
こんなに嬉しいなんて

気持ちいいとおじっこがしたくなっちゃうの？
あなたちょっとおかしいわよ♡
どちらにしても私じゃないと飼い慣らせないわねこんなお漏らし変態犬
快楽に弱すぎて人として退化しちゃうのかしら♡
それって私のために色々な大事なものを捨ててるって事よねぇ？
あぁ素敵だわ♡ずっと待ってた王子様♡
一生愛し合いましょ絶対逃がさない

イクッ!!
し!!
ぐちゅ
ズチュ
ズボッ
なっ
ズボボ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ

今日は記念日だから
にっこり笑うのよ？
ふふふ…
なんてだらしない顔
しかもすぐに
粗相をしてしまう
なんて…
あなた今までどうやって
用足してたのよ？
大学生なんでしょう？
私に犯された喜びで
赤ちゃんに生まれ直したの？
情けないお方ね…

彩綾
遂に私にも素敵な王子様が
現れました♡見る専は
んなにも今度紹介
が主催したお茶会に
人を連れる催しも考えてい
来てくれる方はいるかしら？
てかもうこんなの
人間じゃないわよね
でもいいわ
人間の男ってだけで
今まで嫌悪してる所
あったもの
ヒロシの尊厳がなくても
私だけは
愛してあげるわ
最初から
そうしたかったんだもの

あるお姫様のものがたり
姫は生まれながら自由ではありませんでした
稽古、作法、様々なお城の決まりごとで
姫は退屈で窮屈な毎日を送っていました
あら
お父様
お久しぶりね
ごめんなさいね
忙しかったのよ
またその話・・・
家には帰れないの。
私やりたい事が
出来たから
お父様のお役に
立てない娘で
ごめんなさいね
大人用
介護用
あら怒っているの？
恥晒しの存在を世間に
漏らしたくないのねぇ
だったら自分が何をしたら
いいのかくらいは
わかるわよね？
大丈夫よ
就職も決まっているから
そう長く関わるつもりも
ないわよ
じゃぁまたね

ある日
運命的な出会いをした
男と姫は
互いに惹かれ合い
あっ
んっ
んっ
とっても
かわいい
私のヒロシ
私が作った
大切な奴隷
愛玩動物
男は姫のために
全てを捧げて

ぐんっ
もう
誰にも
壊させない
んだから
最後はふたりだけで
誰も知らない世界で
幸せになりました

「純愛尊厳破壊　愛するあなたを奴隷にするために」
サークル　たのしいすいぞくかん
作者　　海野りょう
配信日　2023年12月11日
販売日　2023年12月31日(コミックマーケット103)
印刷所　おたクラブ(大阪印刷株式会社)
連絡先　umino_pororin@yahoo.co.jp
お仕事等のご連絡はこちらのメールアドレスにて
よろしくお願い致します。
前アカウント凍ってます。
pixiv ID 70699956
twitter @uminoryooo
新アカウントです。

本作品の転載、複製、改変、転売、無断の翻訳等はいかなる場合でも禁止します。

本作品の著作権はサークルたのしいすいぞくかんにあります。

本作品を許可なく翻訳し、インターネットにアップロードした場合、
作者がそれを保存し、正規品として販売致します。
アップロードされた時点でこれに同意したとみなします。

All rights reserved.
Translation, alteration or uploading
on the other websites of the contents of this work
without prior authorization of the Copyright
Owners is prohibited, therefore we will
save it and sell as an official product in the case you do.
without permission will be understood as your agreement to these conditions.
Thank you.